

7月7日(土)

9:00~9:05

総会会長挨拶 木村 穰(東海大学医学部)

9:05~9:55

一般演題1 座長 吉田貴彦(旭川医科大学)

1-1 乳幼児のゴマアレルギーの現状について

○岸田 勝(きしだ まさる)、藤原順子、黒岩 玲、道海秀則、中里純子、二瓶浩一
四宮範明

東邦大学医療センター大橋病院 小児科

1-2. 食品に含まれるホルムアルデヒドの腸内免疫系への影響

○なかぎよしひこ中木良彦¹⁾、伊藤俊弘¹⁾、杉岡良彦¹⁾、遠藤整¹⁾、西條泰明¹⁾、坂部貢²⁾、吉田貴彦¹⁾
¹⁾ 旭川医科大学健康科学講座、²⁾ 北里大学薬学部公衆衛生学講座

1-3. 生活環境中のマイクロ波曝露と生物・医学的影響

○本堂 毅¹⁾(ほんどうつよし) 植田武智²⁾ 坂田泰啓³⁾ 谷川宣人³⁾ 鈴木 哲⁴⁾
小林泰三³⁾ 池田研介³⁾

1) 東北大学大学院理学研究科 2) 日本子孫基金 3) 立命館大学理工学部

4) 仙台電波工業高等専門学校

1-4. マイナス電荷空気環境の生体影響の観察

○おおつき たけみ大槻剛巳¹⁾、高橋一聡²⁾、間瀬昭則²⁾、河戸隆²⁾、小谷宗男²⁾、阿見和久²⁾、松島弘樹³⁾、
白濱毅⁴⁾、吉松道晴⁴⁾、西村泰光¹⁾、前田恵¹⁾、村上周子¹⁾、林宏明¹⁾、森本兼曩¹³⁾

1) 川崎医科大学衛生学、2) 積水ハウス株式会社 総合住宅研究所、3) 大阪大学大学院医学研究科社会環境医学、4) アーテック工房株式会社

1-5. 妊婦における居住階および飲酒習慣別にみた流産について

○逢坂文夫(おうさかふみお) 相川浩幸(東海大学医学部公衆衛生学) 池見好昭(横浜市環境科学研究所)

10:00~11:00

一般演題2 座長 吉野 博(東北大学大学院工学研究科)

2-1. 室内空気汚染物質濃度の構成メカニズムと濃度予測法に関する研究(その2)

○野崎淳夫¹⁾、吉澤 晋²⁾

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科

2) 国立保健医療科学院

2-2. 日用空気汚染対策品による室内化学物質濃度の低減性に関する研究(その2)

野崎淳夫¹⁾、○吉川 彩¹⁾、山下祐希²⁾、橋本康弘³⁾

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科 2) 特定非営利活動法人 室内環境技術研究会 3) 藍野住環境研究所

2-3. 循環濾過型空気清浄ユニット付き換気システムの化学物質除去性能に関する研究(その2)

野崎淳夫¹⁾、○佐々木 俊¹⁾、小名秋人²⁾、長友良久²⁾、橋口裕文²⁾

1) 東北文化学園大学大学院 2) 大成建設株式会社

2-4. 吸着材の化学物質除去性能の実態把握に関する研究

野崎淳夫¹⁾、○一條佑介¹⁾

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科

2-5. トイレ空間における臭気汚染に関する研究(その1) トイレ空間における臭気汚染対策技術とその評価手法の開発

野崎淳夫¹⁾、○横山英智¹⁾、二科妃里²⁾

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科

2) 特定非営利活動法人 室内環境技術研究会

2-6. トイレ空間における臭気汚染に関する研究(その2) トイレユニット付属脱臭装置の臭気物質除去性能

野崎淳夫¹⁾、○二科妃里¹⁾、鈴木昭人²⁾

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科 2) 株式会社 INAX

11:00～12:00

特別講演

「ポストゲノム時代のヒト疾患解析とその展開」

猪子英俊 (東海大学医学部基礎医学系教授・医学部長)

座長 木村 穰 (東海大学医学部)

12:00～12:45 理事会（理事のみ）

12:50～13:20 評議員会（評議員のみ）

13:30～14:00 総会（学会員のみ）

14:10～15:50

シンポジウム 「人は環境物質にどう対処するか」

座長 石川 哲（北里研究所顧問・北里大学名誉教授）

S-1 砒素暴露と生体反応

吉田貴彦（旭川医科大学健康科学講座教授）

S-2 心臓と環境物質—心電図診断の新たな展開

平久美子（東京女子医科大学東医療センター麻酔科）

S-3 室内塵中ダニ・ダニアレルゲン

松木秀明（東海大学健康科学部教授）

S-4 アレルギー疾患と環境要因およびその対処

秋山一男（（独）国立病院機構相模原病院臨床研究センターセンター長）

S-5 環境物質と安全性の考え方（仮題）

柳沢幸雄（東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻教授）

16:00～16:50

一般演題3 座長 池田耕一（国立保健医療科学院）

3-1. 系統解剖実習における高濃度ホルムアルデヒドばく露者の自覚症状調査

○森美穂子（もりみほこ）¹⁾ 原邦夫¹⁾ 石竹達也¹⁾ 嵯峨堅²⁾ 山木宏一²⁾

1)久留米大学医学部環境医学講座 2)久留米大学医学部解剖学講座（肉眼・臨床解剖部門）

3-2. TVOC モニターによる個人暴露濃度の連続測定結果に関する考察

○関根嘉香（せきねよしか）

東海大学理学部化学科、東海大学連合大学院地球環境科学研究科

3-3. 酵素反応を利用したホルムアルデヒド放散量測定～チャンバー法・デシケーター法との相関～

○篠原直秀¹⁾（しのはらなおひで） 梶原智寿²⁾ 大西允人²⁾ 兒玉健一²⁾ 柳沢幸雄³⁾

1)産業技術総合研究所 化学物質リスク管理研究センター 2)日本リビング

3) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

3-4. 家庭用空気清浄機使用室における化学物質濃度予測手法に関する研究(その 2)

野崎淳夫¹⁾、○篠塚雅也¹⁾、吉澤 晋²⁾

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科 2) 国立保健医療科学院

3-5. シックハウス防除のための住居の開発(第2報) (安全・安心・確実な住まいを提供するために)

○吉野 秀明¹⁾²⁾、鈴木 京子¹⁾、遠藤 慶子¹⁾、佐藤 喜政²⁾
(東スリーエス株式会社¹⁾ 研究開発部、²⁾ 住宅事業部)

17:00~18:00

一般演題4 座長 高後裕(旭川医科大学)

4-1. シックハウス症候群における *Neuropathy Target Esterase (NTE)* 酵素活性および遺伝子多型

○松坂恭成¹⁾(まつぎかやすなり) 津田道雄¹⁾ 大久保朋一¹⁾ 菊池イアール幸江¹⁾
青山美子²⁾ 角田和彦³⁾ 坂部 貢⁴⁾ 猪子英俊¹⁾ 石川 哲⁵⁾ 木村穰¹⁾

1) 東海大学医学部基礎医学系 2) 青山内科小児科医院 3) かくたこども&アレルギークリニック 4) 北里大学薬学部公衆衛生学 5) 北里研究所病院環境医学センター

4-2. 化学物質過敏症転地療養患者を対象とした重心動揺繰り返し計測

○中井里史¹⁾、立石早紀¹⁾、小沢 学²⁾、松井孝子²⁾、坂部 貢^{2,3)}

1) 横浜国立大学大学院環境情報研究院・学府、
2) 北里研究所病院臨床環境医学センター、 3) 北里大学薬学部公衆衛生学

4-3. シックハウス症候群患者の瞳孔組織所見

○浅川賢¹⁾(あさかわけん) 石川均¹⁾²⁾ 後関利明³⁾ 榊原七重²⁾ 石川哲⁴⁾
坂部貢⁴⁾⁵⁾ 相澤好治⁶⁾

1) 北里大学大学院医療系研究科 2) 北里大学医療衛生学部視覚機能療法学
3) 北里大学病院眼科 4) 北里研究所病院臨床環境医学センター
5) 北里大学薬学部公衆衛生学 6) 北里大学医学部公衆衛生学

4-4. 臨床環境医学センター受診患者における中心フリッカー検査の検討(第二報)

○小沢 学¹⁾²⁾ 松井孝子²⁾ 宮田幹夫²⁾ 坂部 貢²⁾³⁾

- 1) 北里研究所病院・看護部 2) 北里研究所病院・臨床環境医学センター
3) 北里大学薬学部・公衆衛生学

4-5. 開発した眼球運動装置の評価 - 化学物質過敏症患者を中心として -

- ^{まついたかこ}松井孝子¹⁾ 小沢 学¹⁾ 榊原七重²⁾ 田中舘明博²⁾ 石川 均²⁾ 宮田幹夫¹⁾ 石川 哲¹⁾
佐々木恵子¹⁾ 尾島正幸¹⁾ 山田高也³⁾ 鈴木幸男⁴⁾ 土本寛二⁵⁾ 6) 相澤好治¹⁾ 7) 坂部 貢¹⁾ 8)
1) 北里研究所病院・臨床環境医学センター 2) 北里大学・医療衛生学部
3) 島根大学・総合科学研究支援センター 4) 北里研究所病院・呼吸器科
5) 北里研究所病院・内科 6) 北里大学薬学部・病態解析部門 7) 北里大学医学部・
衛生学公衆衛生学 8) 北里大学薬学部・公衆衛生学講座

4-6. functionalMRI を用いた化学物質過敏症の脳画像解析と診断の検討

- ^{みきたけお}三木猛生¹⁾ 宮島江里子¹⁾ 石橋美生¹⁾ 角田正史¹⁾ 菅 信一²⁾ 坂部 貢³⁾ 宮
田幹夫⁴⁾ 相澤好治¹⁾
1) 北里大学医学部衛生学公衆衛生学 2) 北里大学医学部放射線科学 3) 北里大学薬
学部公衆衛生学 4) 北里研究所病院臨床環境医学センター

18:15～20:00

懇親会

7月8日(日)

9:00~10:00

一般演題5 座長 中井里史(横浜国立大学大学院環境情報学科)

5-1. 建築物衛生法に基づく夏期病院の室内環境の実態調査

○池田耕一¹⁾(いけだこういち) 柳 宇¹⁾ 鍵 直樹¹⁾ 西村直也²⁾ 小畑美知夫³⁾
齋藤秀樹³⁾ 齋藤敬子³⁾ 鎌倉良太³⁾ 吉野 博⁴⁾ 相澤好治⁵⁾

1) 国立保健医療科学院 2) 芝浦工業大学 3) 財団法人ビル管理教育センター 4) 東北大学
5) 北里大学

5-2. 事務室における化学物質汚染の実態解明と化学物質濃度予測手法の開発に関する研究

野崎淳夫¹⁾、○成田泰章²⁾
なりたやすのり

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科 2) 藍野住環境研究所

5-3. 病院待合室における浮遊微生物汚染の実態調査

○柳 宇¹⁾、池田耕一¹⁾、鍵 直樹¹⁾、西村直也²⁾
小畑美知夫³⁾、齋藤秀樹³⁾、齋藤敬子³⁾、鎌倉良太³⁾、吉野博⁴⁾、相澤好治⁵⁾

1) 国立保健医療科学院 建築衛生部、2) 芝浦工業大学、3) (財)ビル管理教育センター、
4) 東北大学大学院、5) 北里大学医学部

5-4. 化学物質・微生物等の住環境と居住者の症状に関する実測調査

○吉田真理子¹⁾、吉野博¹⁾、中村安季¹⁾、池田耕一²⁾、野崎淳夫³⁾、角田和彦⁴⁾、北條祥子⁵⁾、
吉野秀明⁶⁾、長谷川兼一⁷⁾、天野健太郎⁸⁾、石川哲⁹⁾

1) 東北大学大学院工学研究科、2) 国立保健医療科学院建築衛生部、3) 東北文化学園大学大学
院健康社会システム研究科、4) かくたこども&アレルギークリニック、5) 尚綱学院大学生生活
創造学科、6) 東スリーエス株式会社、7) 秋田県立大学システム科学技術学部、8) 竹中工務店、
9) 北里研究所病院臨床環境医学センター

5-5. 旭川・伊豆における「化学物質過敏症転地療養支援」の取組みと課題—周辺環境と生活実態から見た支援体制構築に向けた可能性への一考察—

○小林幸治¹⁾ 尾竹一男¹⁾ 飯濱宥明¹⁾ 小笠原次雄¹⁾
こばやしこうじ

化学物質過敏症支援センター

5-6. 職域におけるシックハウス症候群の調査研究

○池田真紀¹⁾ 細井 香²⁾ 宮島江里子²⁾ 石橋美生²⁾ 三木猛生²⁾ 角田正史²⁾
相澤好治²⁾

1)北里大学大学院医療系研究科 2)北里大学医学部衛生学公衆衛生

10:10~11:10

一般演題6 座長 角田正史(北里大学医学部)

6-1. 質問票によるCS診断の精度向上に関する工夫—体調不良者の事例研究から—

○広瀬恢 辻元宏 野々村和男 鎌田昭二郎 西山勝夫 岡本眞佐美 北村三雄
しがシックハウス対策研究会

6-2. シックハウス症候群の機序による分類—専門医師と一般医師の判定の相違に関する検討—

いしばしみお

○石橋美生¹⁾ 三木猛生¹⁾ 遠乗秀樹¹⁾ 宮島江里子¹⁾ 工藤安史¹⁾ 角田正史¹⁾
坂部 貢²⁾ 相澤好治¹⁾

1)北里大学医学部衛生学公衆衛生学 2)北里大学薬学部公衆衛生学

6-3. CS患者の症状変化 —POMSとQEESIを用いた検討—

○立石早紀¹⁾(たていし さき) 中井里史¹⁾ 小沢 学²⁾ 松井孝子²⁾ 尾島正幸²⁾
宮田幹夫²⁾ 坂部 貢²⁾³⁾

1)横浜国立大学大学院環境情報学府 2)北里研究所病院臨床環境医学センター

3)北里大学薬学部公衆衛生学

6-4. シックハウス症候群患者における感情・気分状態についての検討(第二報)

○横沢册子(よこさわふみこ)¹⁾ 石原友香¹⁾ 小川真規¹⁾ 西中川秀太¹⁾ 安藤明利¹⁾
圓藤陽子²⁾ 後藤浩之³⁾

1)東京労災病院環境医学研究センター 2)同、産業中毒センター 3)関西労災病院環境医学研究センター

6-5. 化学物質過敏症看護外来の設置効果に関する検証 第1報 ~症状とQOLの改善がみられた事例を通して~

いまいなみ

○今井奈妙, 辻川真弓, 本田育美, 高植幸子, 瀬川雅紀子, 種田ゆかり

三重大学医学部看護学科基礎看護学講座

6-6. QEESI を用いた住環境と居住者の健康に関する全国調査

○北條 祥子¹⁾、熊野 宏昭²⁾、吉野 博³⁾、角田和彦⁴⁾、石川 哲⁵⁾

1) 尚絅学院大学総合人間科学部 2) 東京大学大学院医学研究科 3) 東北大学大学院工学研究科、4) かくたアレルギー小児クリニック、5) 北里研究所病院臨床環境医学センター

11:20~12:00

一般演題7 座長 大槻剛巳(川崎医科大学)

7-1. 微細ビーズを用いた真菌孢子からのDNA抽出に関する研究

○山本尚理^{1) 2)}(やまもとなおみち) 松坂恭成³⁾ 松木秀明¹⁾ 木村穰³⁾ 柳沢幸雄⁴⁾

1) 東海大学健康科学部 2) 日本学術振興会特別研究員 PD 3) 東海大学医学部基礎医学系 4) 東京大学大学院新領域創成科学研究科

7-2. 緑茶飲料および国産果物摂取後に出現した心電図異常を伴う症状群

○平 久美子¹⁾ (たいらくみこ)、青山 美子²⁾

1) 東京女子医科大学東医療センター麻酔科 (たいらくみこ) 2) 青山内科小児科医院

7-3. 高槻市の児童・生徒の難聴被患率の推移について

○富田重行(とみたしげゆき)

高槻・市民自主講座

7-4. 病院近傍にできたアルミダイキャスト工場による大気汚染公害の実態報告

～都会にない治療環境・ハーブ庭園の自然環境をうばわれて～

○野尻 眞^{のじり まこと}

岐阜県(医)白水会 白川病院 理事長・院長

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:00

一般演題8 座長 柳沢幸雄(東京大学大学院)

8-1. 「ケミレスタウン・プロジェクト」の取り組みー持続可能な社会の実現を目指して(第2報)

○戸高恵美子^{1,2,3)}(とだかえみこ)、中岡宏子^{1,2,3)}、渡辺久美子^{1,3)}、森千里^{1,2,3)}

¹⁾ 千葉大学 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター、²⁾ 千葉大学大学院 医学研究院 環境生命医学、³⁾ 千葉大学地域サステナビリティ学アソシエーション (CARSS)

8-2. シックハウス症候群の原因物質を極力削減した実験施設完成後1ヶ月時点での空気測定と体感評価について

○中岡宏子¹⁾ (なかおかひろこ)、齋藤育江²⁾、坂部貢³⁾、戸高恵美子⁴⁾ 松野義晴¹⁾、田中裕貴¹⁾、渡辺久美子⁴⁾、森千里^{1,4)}

¹⁾千葉大学大学院 医学研究院 環境生命医学、²⁾ 東京都健康安全研究センター、³⁾ 北里大学薬学部公衆衛生学、⁴⁾ 千葉大学 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター

8-3. 化学物質を排除した居住空間の構築に関する研究

○富田信夫¹⁾ (とみたのぶお)、小林真人²⁾、河野俊樹²⁾

1) 飛島建設(株)建築事業本部 2) 同技術研究所

8-4. 家電製品から発生する化学物質による室内空気汚染とその実態把握に関する研究 (その2)

野崎淳夫、○福島靖弘

東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科

8-5. 接着剤からの発生化学物質による室内空気汚染に関する研究

野崎淳夫、○山下祐希

東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科

8-6. 塗料の室内空気質に与える影響に関する研究

野崎淳夫¹⁾、○橋本康弘²⁾ (はしもとやすひろ)、山下祐希³⁾、

1) 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究、2) 藍野住環境研究所、3) 特定非営利活動法人 室内環境技術研究会

14:30~17:00

市民公開シンポジウム

「シックハウス症候群の基礎・臨床研究から対応策まで」

座長 坂部 貢 (北里大学薬学部公衆衛生学教室教授)

SS-1 シックハウス症候群と化学物質過敏症の概念整理

相澤好治 (北里大学医学部衛生学公衆衛生学教授・医学部長)

SS-2 遺伝要因からみたシックハウス症候群

木村 穰 (東海大学医学部基礎医学系教授)

SS-3 実験動物で探る低濃度有機化合物の影響機構

藤巻秀和（(独)国立環境研究所環境リスク研究センター）

SS-4 建築学の立場からみたシックハウス症候群

池田耕一（国立保健医療科学院建築衛生部長）

SS-5 環境改善型予防医学の実践「未来世代のための街づくり：ケミレスタウン・プロジェクト」について

森 千里（千葉大学大学院医学研究院環境生命医学教授）